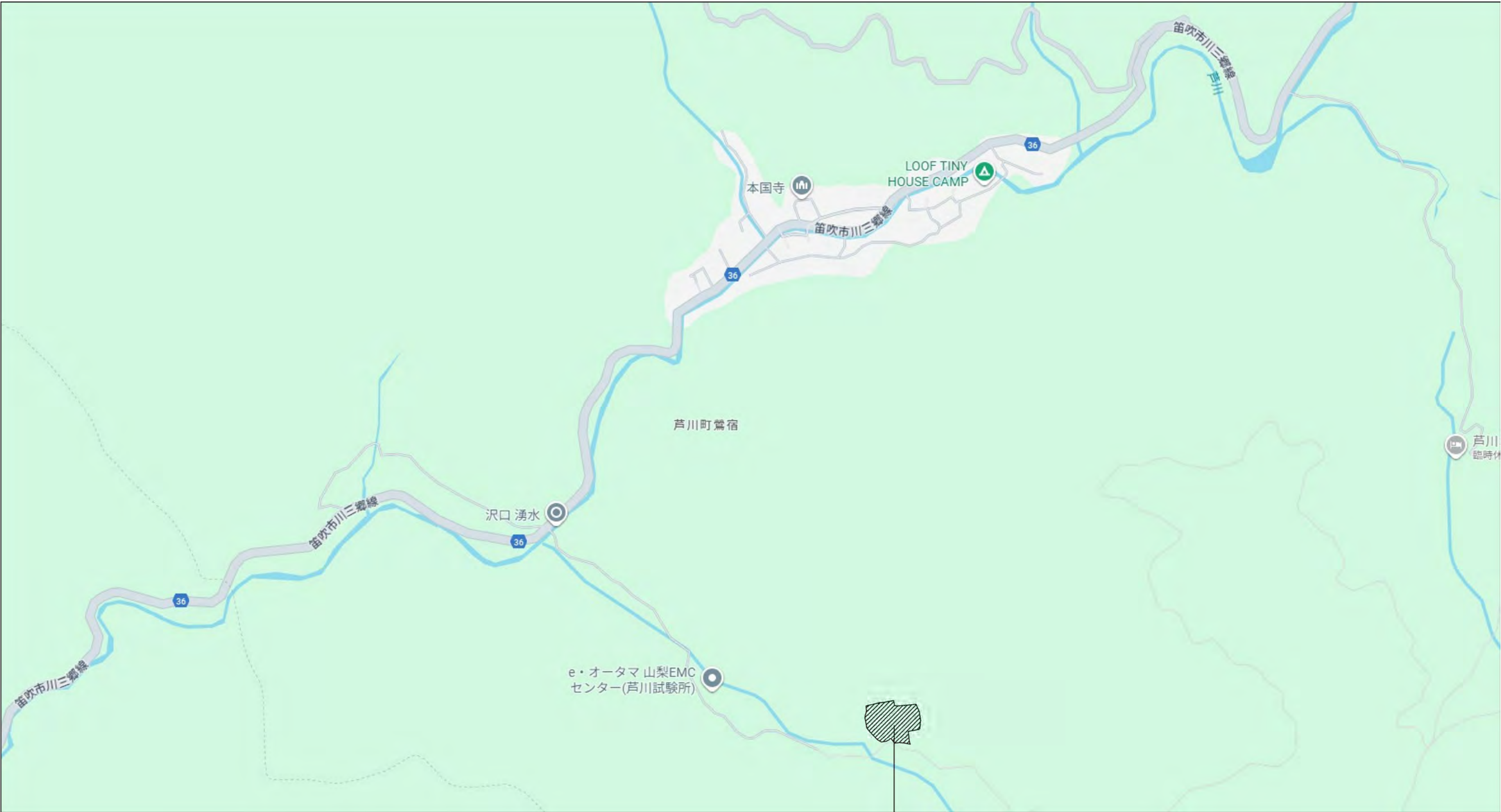


# 芦川グリーンロτζジ本館解体工事（明許） 設 計 図

[illegible]

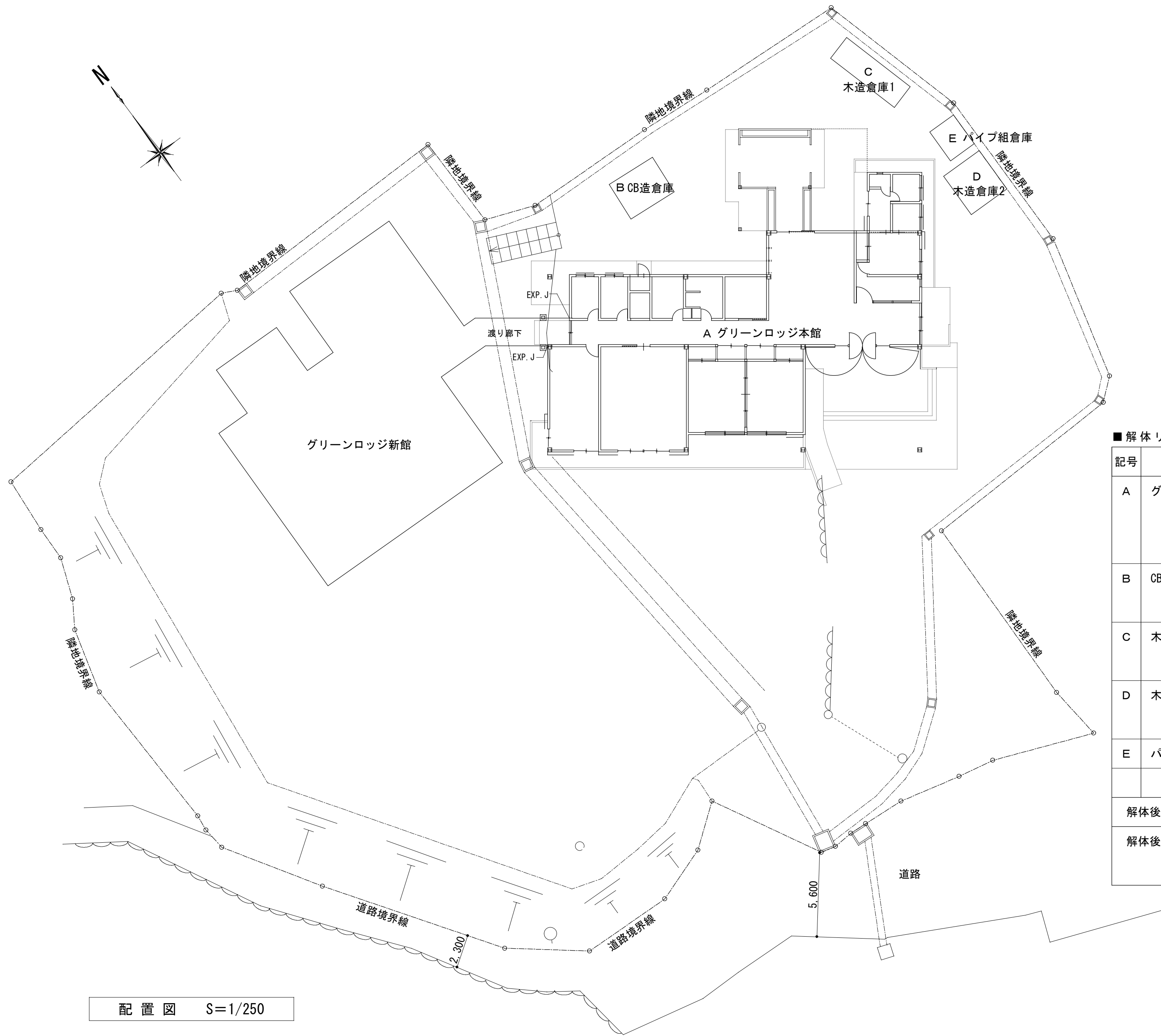
章	項	目	特 記 事 項				章	項	目	特 記 事 項						
	4. 特殊な建設副産物の回収及び処分	[7. 1. 1～7. 3. 1]								セキュリティーゾーンの設置 ・ 下表による						
		回収又は処分を行う副産物の種類		対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等		保管場所・処分場の所在地等			適用	室名	状態	※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱		※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備	
		・ フロン								・	更衣室		※ エアシャワー ・ 温水シャワー（退場時） ・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご			
		・ ハロン														
		・ イオン化式感知器														
		・ 六フッ化硫黄 (SF6) ガス														
6	①. 一般事項	石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(最新版厚生労働省令以下「石綿則」という。)、大気汚染防止法(最新版)以下「大防法」という。)を遵守すること。								ただし、（財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。						
		施工調査 [6. 1. 1～6. 1. 4] <9. 1. 1～9. 1. 2> ・ 行う（調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。） 調査箇所 ・ 図示 ・ （ ） 調査事項 ・ アスベスト含有建材等の使用部位 ・ アスベスト含有建材等の種類、厚さ ・ 施工範囲と工事範囲区分 ・ 廃棄物などの搬出方法  ・ 行わない。								除去物及び汚染等 [9. 1. 3 (2)] 処理方法 ※ 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化						
		アスベスト含有分析 [6. 1. 3] ・ 行う（分析結果は監督職員に提出する。） 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による								アスベスト含有保温材の除去工事 [6. 4. 1～6. 4. 5] <9. 1. 4> ・ 行う ・ 行わない						
		材 料 名		定性分析		定量分析				適用範囲		※ 工事対象範囲				
				・ （試料数： ）		・ （試料数： ）										
				・ （試料数： ）		・ （試料数： ）										
				・ （試料数： ）		・ （試料数： ）										
				・ （試料数： ）		・ （試料数： ）										
		※ 行わない（分析調査は完了済みですので調査結果のデータ等必要書類は貸与します。それ以外で部位調査をする場合は請負者の判断で行うこと。）								除去工法 [9. 1. 4 (3)] ・ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ・ 除去物については改修標準<9. 1. 3 (2)>により、密封処理とする。						
		アスベスト粉じん濃度測定 [6. 1. 4] ※ 行う（測定する時期・場所等は協議による） 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－ ：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による								アスベスト含有成形板の除去工事 [6. 5. 1～6. 5. 4] <9. 1. 5> ※ 行う ・ 行わない						
		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)				室 名 等	適用箇所		※ 図示(仕上表)			
			測定 1	処理作業前	処理作業室内 (注 1)	・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点 ・ 点 ・ 点									
			測定 2		施工区画周辺 又は敷地境界	・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点									
			測定 3	処理作業中	処理作業室内 (注 1)	・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点 ・ 点 ・ 点									
			測定 4		セキュリティーゾーン入口 (空気の流れを確認)	・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点 ・ 点 ・ 点									
			測定 5		負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)	・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点 ・ 点 ・ 点									
			測定 6		施工区画周辺 又は敷地境界	・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点									
			測定 7	処理作業後シート撤去前	処理作業室内	・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点 ・ 点 ・ 点									
	測定 8		施工区画周辺 又は敷地境界	・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点											
	測定 9	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点 ・ 2 点	・ 点 ・ 点 ・ 点 ・ 点											
		測 定 点 総 計				点										
注 1：周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。																
	②. 除去工事共通事項	記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。） エ. サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量） オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量  測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 [6. 1. 3 (3)]  施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録（廃石綿） 4. 施工調査等記録（条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等） 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 部作成  専門工事業者 [6. 2. 1～6. 2. 7] <9. 1. 2 (1)> アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。  作業主任者の選出 <9. 1. 2 (2)> 石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。  除去作業者の教育 <9. 1. 2 (3)> 作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けたものとする。また、一般健康診断、じん肺健康診断を受診したものとし、肺機能に異常のないものとする。  特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9. 1. 2 (4)> 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。  表示及び掲示 作業場など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 <9. 1. 2 (6)> ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立入禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱い上の注意事項 ※ 使用すべき保護具  周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等）」  保護具、保護衣 <9. 1. 2 (7)> 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。  除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 <9. 1. 3 (3)><9. 1. 4 (4)><9. 1. 5 (3)> ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。  アスベスト含有吹き付け材の除去工事 [6. 3. 1～6. 3. 4] <9. 1. 3 (2)> ※ 行う ・ 行わない 適用範囲 ※ 図示  作業場等の隔離等 <9. 1. 3 (1)> ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。  隔離シートの性能 ※ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重 ※ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等  ただし、（財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。								4. アスベスト含有保温材等の除去						
		⑤. アスベスト含有成形板の処理														
		アスベスト含有吹き付け材の除去工事 [6. 3. 1～6. 3. 4] <9. 1. 3 (2)> ※ 行う ・ 行わない														
		適用範囲 ※ 図示														
		作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。														
		隔離シートの性能 ※ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重 ※ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等														
		ただし、（財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。														



住所：笛吹市芦川町鶯宿1760

工 事 概 要

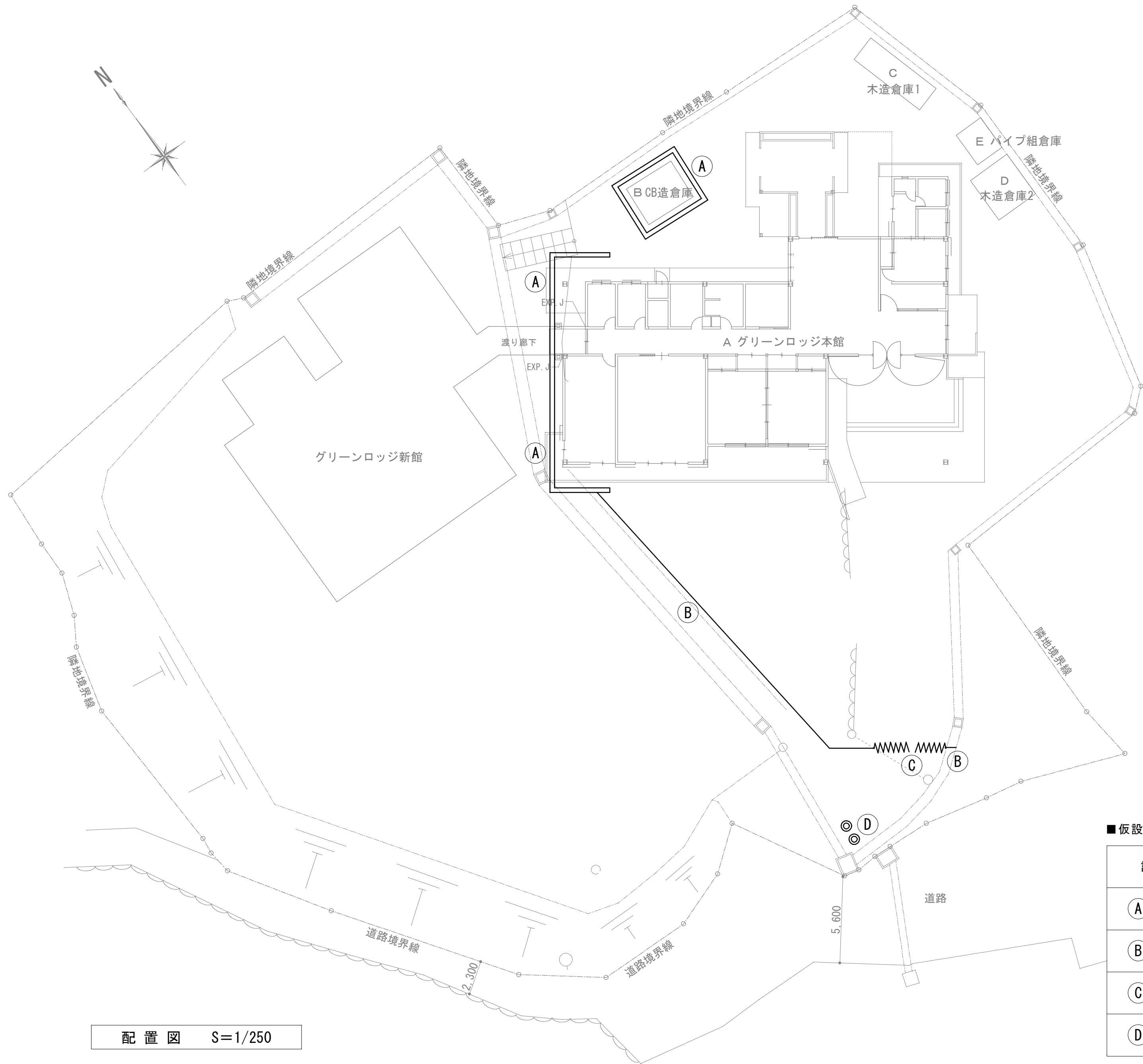
- ・ 芦川グリーンロッジ本館建物上屋の解体（内容は解体リストによる）
- ・ CB倉庫の外壁複層吹付材・寝室床クッションフロアーはアスベスト含有材とし適切に処理する
- ・ 建物内の備品類は適切に処理する
- ・ 解体リスト以外は別途とする
- ・ ガス、オイル等の撤去申請業務は別途とする



■解体リスト ※解体リスト以外は存置とする

記号	名称	構造・規模	その他
A	グリーンロッジ本館	鉄骨造 平屋建て 306.50㎡	・上屋のみ解体 土間コンクリート下は残置 ・屋根は2層屋根 寝室床クッションフロアに7ｽﾍﾞｽﾄ含有 ・炊事場横に庇有り ・備品類撤去含む
B	CB造倉庫	CB造 平屋建 9.72㎡	・基礎共解体 ・外壁吹付材に7ｽﾍﾞｽﾄ含有 ・備品類撤去含む
C	木造倉庫1	木造 平屋建 12.15㎡	・基礎共解体 ・備品類撤去含む
D	木造倉庫2	木造 平屋建 9.72㎡	・基礎共解体 ・備品類撤去含む
E	パイプ組倉庫	パイプ組 4.86㎡	・備品類撤去含む
解体後工事			
解体後は解体部分を荒造成し、既存渡り廊下EXP. J部は養生すること。			

配置図 S=1/250

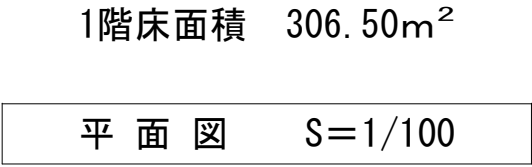


配置図 S=1/250

■仮設リスト

記 号	名 称	数 量
Ⓐ	外部足場：桢組W=600+防音シート	175.05 m
Ⓑ	仮囲い：波板鉄板 H=1,800	25.1 m
Ⓒ	出入口：キャスターゲート W=6,000 H=1,800	1ヶ所
Ⓓ	交通誘導員（必要に応じて）	10人程度





外 部 仕 上 表

屋 根	シングル葺きの上、耐水合板t12張り    アスファルトルーフィング22kg/巻    カラー鉄板t0.4瓦棒葺き	樋	アルミ亜鉛合金メッキ鋼板t0.5    樋樋：塩ビ製100φ0P
軒 先	シングルコンパネ、木毛板、母屋C-75×45×15×2.3、アスファルトルーフィング22kg/巻、カラー鉄板t0.4横葺き	ベランダ	米ヒバt21、目透かし張り、木材保護着色塗装塗り
軒 天	外部用：LGS下地、ケイカル板t6.0、目透かし張りVP、一部有孔ケイカル板t6.0	ポーチ扉	木製両開き扉
外 壁	天唐t18、相決り機械加工、木材保護着色塗料塗り、一部雨水カラー鉄板張り、ブロック壁：化粧積み、アクリルリシン吹付		

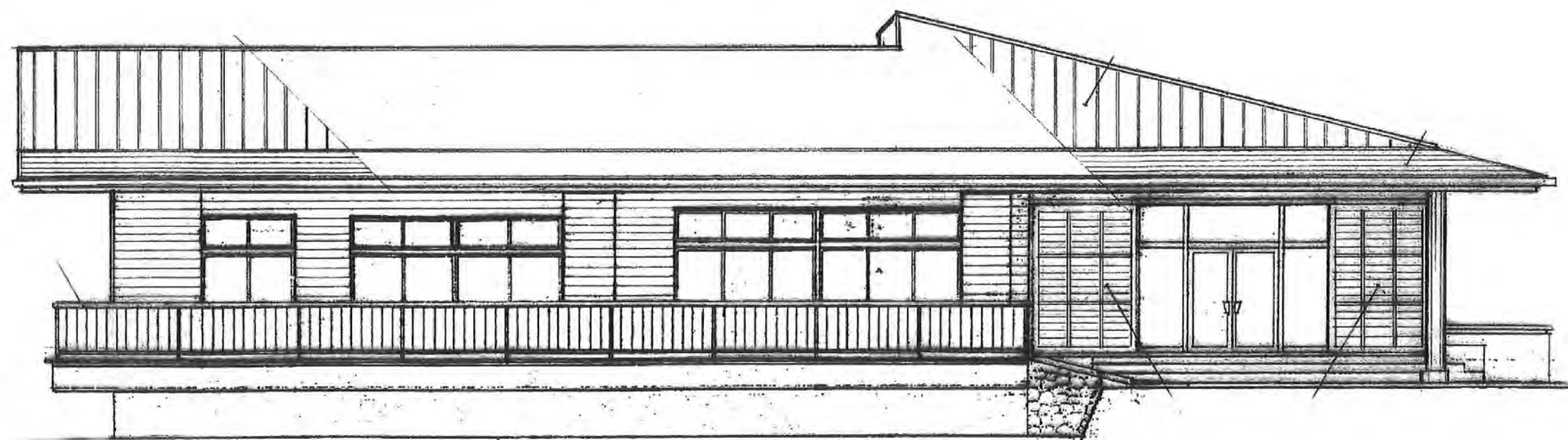
内 部 仕 上 表

室 名	床	巾 木	壁	天 井	備 考
寝 室 (和室)	タタミ t60 敷き	タタミ寄	木目石膏ボードt9 目透かし張り	木目化粧石膏ボードt9 張り	
寝 室	コンクリート金ゴテ、クッションフロアー敷き (アスベスト含有)	木巾木    H＝120    OS	木目石膏ボードt9 目透かし張り	小屋裏表し    0P	
食堂・玄関	コンクリート金ゴテ、クッションフロアー敷き	木巾木    H＝120    OS	木目石膏ボードt9 目透かし張り	小屋裏表し    0P	
洗 面	コンクリート金ゴテ		コンクリートブロック    化粧積み	小屋裏表し    0P	
炊事場	コンクリート金ゴテ		コンクリートブロック    化粧積み	小屋裏表し    0P	
管理人室	タタミ t60 敷き	タタミ寄	木目化粧石膏ボード張り	木目化粧石膏ボードt9 張り	
廊 下	コンクリート金ゴテ、クッションフロアー敷き	木巾木    H＝120    OS	木目石膏ボードt9 目透かし張り	プasterボード張り    VP	
洗 面 脱衣室	コンクリート金ゴテ、クッションフロアー敷き	木巾木    H＝100    OS	PB t12    ビニールクロス張り(耐水性)	木下地    フレキシブルボードt6    VP	



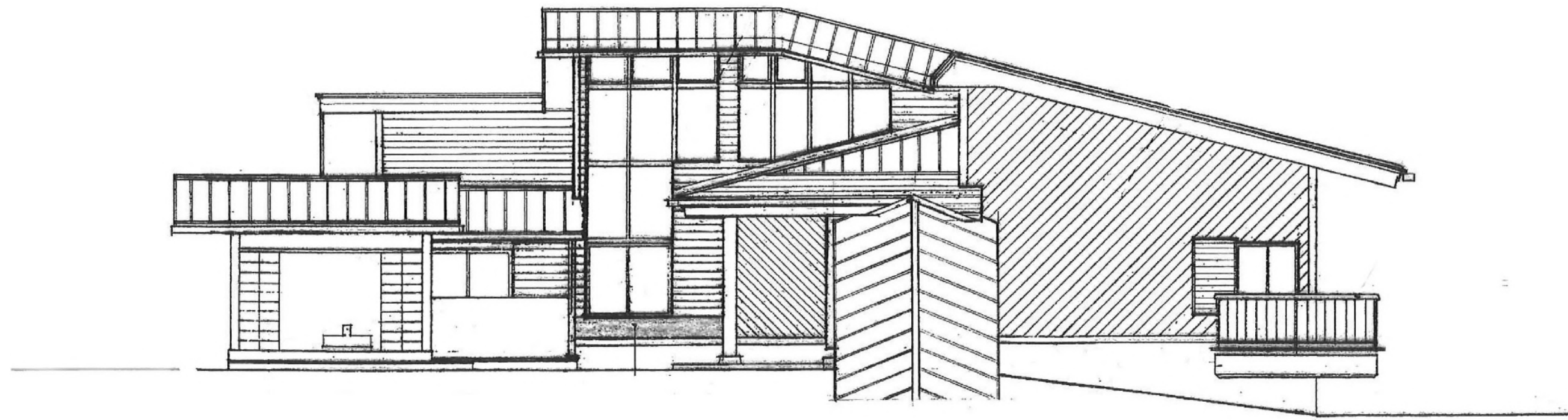


東立面図

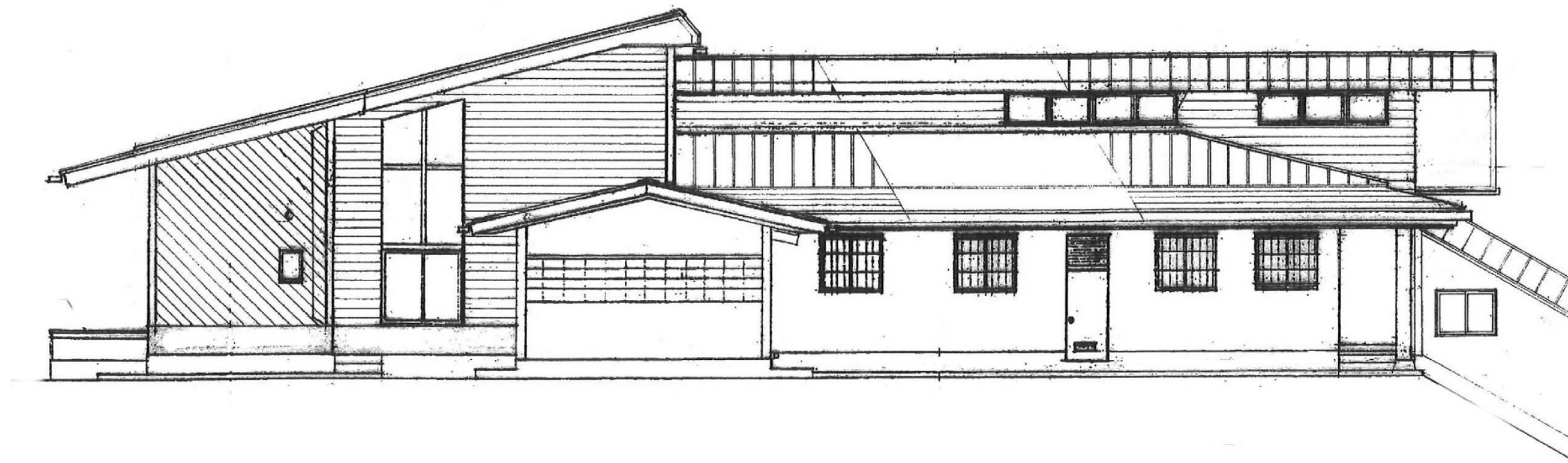


南立面図



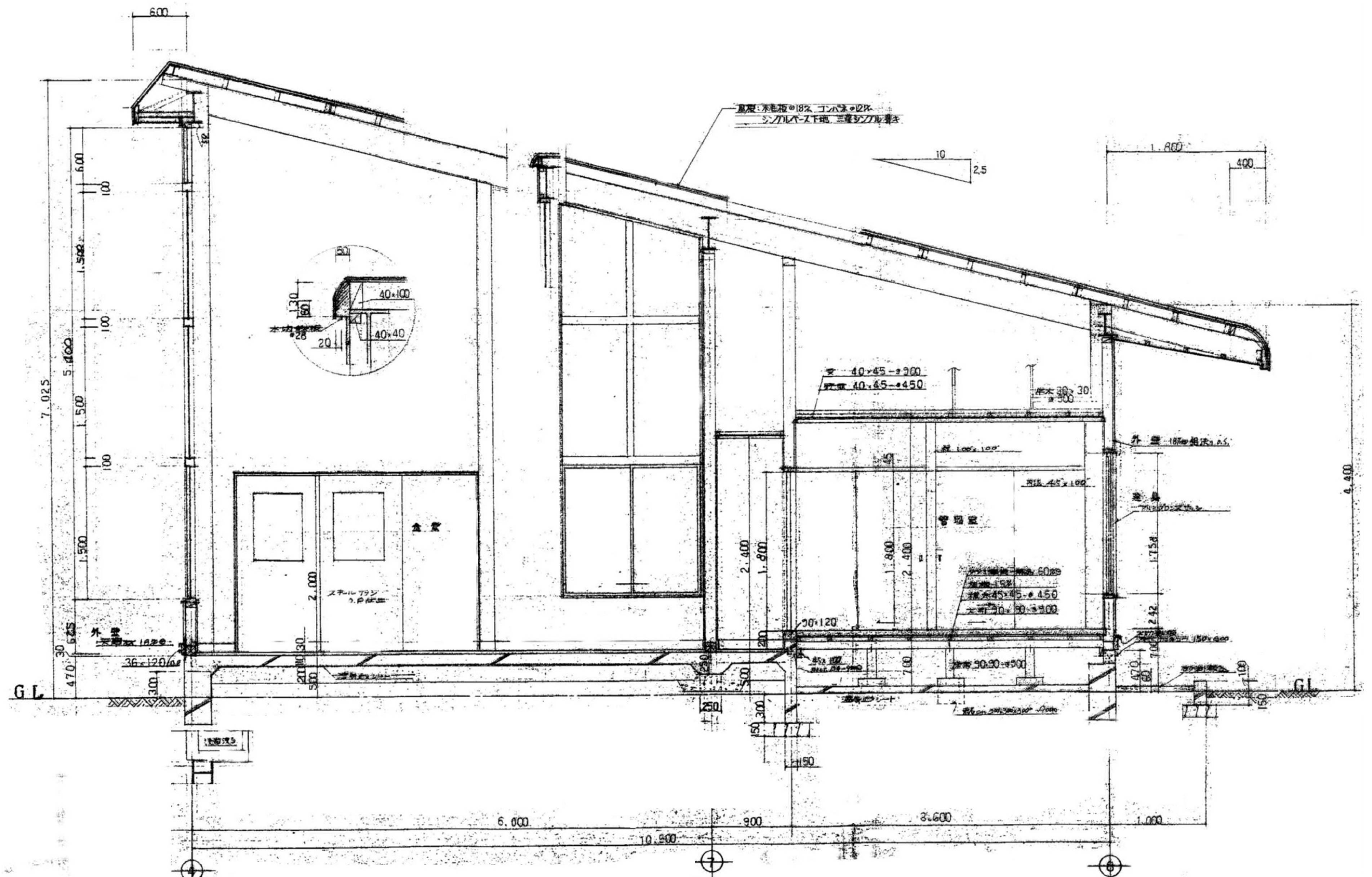


西立面図



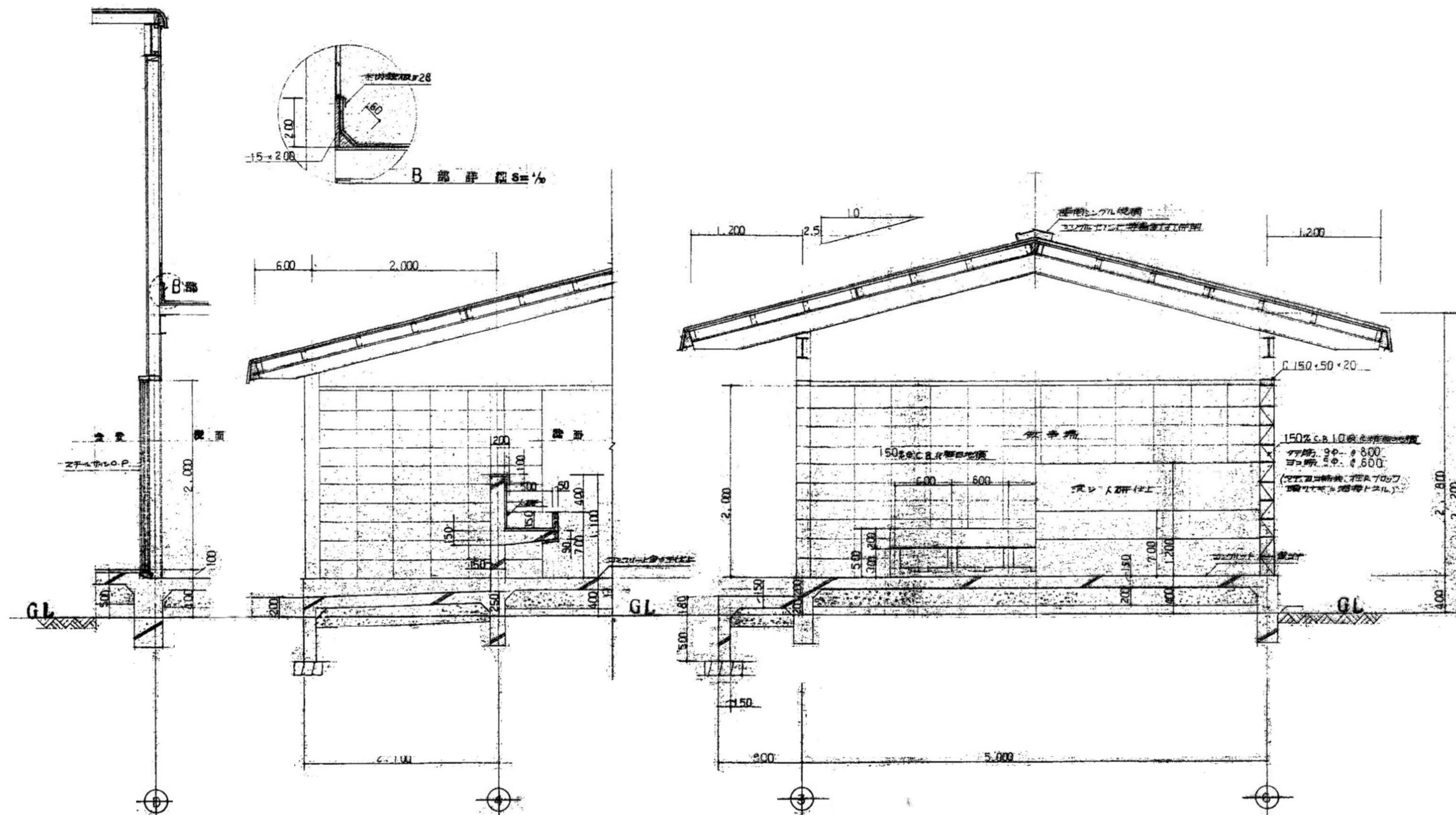
南立面図





断面図

















断面図

TITLE	芦川グリーンロッジ本館解体工事(明許) 設計図
ITEM	断面図 2

MEMO	
SCALE	N : S

DATE	
CHECK	



 <div> A  グリーンロッジ  入口正面 </div>	 <div> A  グリーンロッジ  西面 </div>	 <div> B  CB造倉庫  西面 </div>
 <div> A  グリーンロッジ  南面 </div>	 <div> A  グリーンロッジ  炊事場 </div>	 <div> C  木造倉庫1 </div>
 <div> A  グリーンロッジ  北面 </div>	 <div> A  グリーンロッジ  北面 オイルタンク </div>	 <div> D  木造倉庫2 </div>
 <div> A  グリーンロッジ  東面 </div>	 <div> B  CB造倉庫  正面 </div>	 <div> E  パイプ組倉庫 </div>